


【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	南九州市家庭教育支援チーム (呼称: プッチランド)
活動開始年度	平成 14 年度
活動拠点	知覧地区公民館
活動範囲	南九州市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (家庭教育充実事業費)
組織体制	6 人 子育てサポーター 6人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 伝承あそび <input type="checkbox"/> 読み聞かせ(絵本・紙芝居など) <input type="checkbox"/> 制作活動(季節に合わせたもの、その他) <input type="checkbox"/> 毎月の誕生会 <input type="checkbox"/> 歌 <input type="checkbox"/> 体操 <input type="checkbox"/> 指遊び
活動の成果 	<input type="checkbox"/> 毎月の誕生会を楽しみに参加する親子が多い。 <input type="checkbox"/> 「食」をテーマにした親子講演会をしたところ、たくさんの親子が参加し、親子で料理を作って楽しく食べるという体験ができた。



<p>活動において苦労した点や課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子のスキンシップを大切にするため、昔遊び(伝承あそび)などを取り入れているが、更に活動を充実させるために検討中である。 ○ 年間を通して、年齢ごとの育ちを感じられるように工夫した活動を展開するのに苦労しているが、五感を使った活動等を計画的に取り入れるようにしている。 ○ 保育士、子育ての先輩ママをサポートをお願いすることで、子育ての悩みや子どもの発達の様子など、参加者の不安も和らいでくれるといいなと思いながら活動している。
<p>今後の活動目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供も保護者もコミュニケーション能力が低下しているので、人間関係を構築できるように、今後ともサポーター間で心がけていきたい。
<p>問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等)南九州市教育委員会 社会教育課社会教育係 堀之内 一二美 (TEL)0993-56-1111 (E-mail)shakyo@city.minamikyushu.lg.jp</p>